
世界の終わり

タカハシニンジン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

世界の終わり

【Nコード】

N0449Q

【作者名】

タカハシニンジン

【あらすじ】

僕はもう生きてはいけない

空を見ても広すぎて認識するのはその世界の広さではなく、自分の小ささだ。

かと言って街へでも繋がりを感ぜない。認識するのは自分の孤独。快楽を求めても、感じるのは自分への絶望感と人間への嫌悪。

そして僕は人間だ。

ぼくは何故ここにいるの？

ナンノタメニ

イキテルノ？

でも痛いのは怖い。それは人間以前に生き物だから。

怖い。恐怖？

僕は何が怖い？

痛み？孤独？空腹？虚無？

死？

そうか僕は死が怖い。

僕は人間が嫌い。

汚い生き物だから。

戦争、破壊、殺人、略奪、レイプ

自分の快楽に忠実。

でもケモノではない。

抑制することは人間しかできない。
ケモノは我慢できないもの。
だから人間は偉いの？
よくわからない。

でも僕は人間だ

嫌い。だから死にたい。

嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い嫌い

でも苦しいのはやだ。

生き物だもの。

そうだ

世界が終わればいい

全部なくなってしまうればいい。

こんな汚くて、下らなくて、意味がない世界だって

消える瞬間はきつと美しいはずだ。

散りゆく花のように

落ちてゆく蛍のように

春に向けとけゆく雪のように

人間も

生き物も

全て何も無い、黒でも白でもない色に変わって

無理やり持たせられた意味から解放されて

本当に意味のある世界へ

でも
でも
でも

この世界は終わらない

僕は死にたいのに

これほど人間が嫌いなのに

一人は嫌なんだ。

僕が人間であるかぎり。

だから生きて行こう

苦しくても

明日世界が終わってもいい

僕はそれを望んでいるから

でも今は生きていよう

人間として

(後書き)

あんまり深く考えないでほしいです。

生きるってなんなんだろうな

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0449q/>

世界の終わり

2011年1月13日06時21分発行